

松くい虫被害の発生について（4例目）

諏訪市中洲神宮寺地区において、アカマツ枯損木からマツノザイセンチュウが検出され、松くい虫被害が確認されました。諏訪市において4例目の被害となります。今後早期に伐採駆除する予定です。

1 被害場所

- ・場所：諏訪市中洲神宮寺（山林内） 標高約 900m付近
- ・被害木：アカマツ 3本 林齢約 140年 土地所有者：団体

2 経緯

- ・8月18日：当該被害木付近の住民の通報をもとに、検体を採取し、鑑定依頼を実施
- ・9月1日：諏訪地域振興局より鑑定の結果マツノザイセンチュウが検出されたとの連絡があった

3 今後の対応

被害木の伐倒及び燻蒸処理を実施予定。被害木周辺の監視を強化するとともに、市内全域において、引き続き松林巡視員・職員による監視を行い、枯損木等の早期発見と早期駆除に努めます。

また、広報、ホームページなどによる注意喚起を行い、市民へのご協力のお願いと情報収集に努めます。



〒392-8511 長野県諏訪市高島 1-22-30
長野県 諏訪市 経済部 農林課 耕地林務係
（担当）成田、小口
電 話 0266-52-4141（内線 413・414）
FAX 0266-57-0660（代表）
メール nourin@city.suwa.lg.jp